

令和4年 築上町教育委員会（12月定例会）議事録

1. 日 時 令和4年12月20日（火） 午前9時30分開会
2. 場 所 築上町役場 本庁 議会委員会室
3. 出席委員 麥田 猛美 教育長職務代理者、折本 美佐子 委員、茅田 香 委員、
小林 正尚 委員、久保 ひろみ 教育長
4. 欠席委員 な し
5. 傍聴者 な し
6. 事務局出席者 鍛冶 孝広 学校教育課長、尾座本 三雄 生涯学習課長、
岡部 勇佑 学校教育係長、出口 厚志 学校管理係長、
藤江 崇 学校整備係長、野村 仁資 スポーツ振興係長、
城山 琴美 図書館係長、宮内 智久 指導主事、
榎 憲治 指導主事、毛利 克浩 地域活動指導員

午前9時30分開会

7. 会議内容

- (1) 開 会
- (2) 教育長あいさつ
- (3) 前回議事録の承認
- (4) 教育長報告
報告1 教育長会議報告
- (5) 事務局報告
報告2 築上町議会12月定例会の報告について
報告3 指定校変更について【非公開】
報告4 区域外就学について【非公開】
報告5 指導主事報告

(6) 協議事項

① 築上町立小中学校適正配置基本計画について

○学校教育課長（鍛治 孝広君） それでは、次の協議事項に移りたいと思います。

今日は、協議事項1点でございます。築上町立小中学校適正配置基本計画についてということで、まず協議資料を御準備いただきたいと思っております。データのほうです。画面で、御準備をお願いします。

適正配置基本計画については、11月28日と30日の説明会について委員さんの御出席を頂きまして、本当にありがとうございます。説明会の中でも色んな御質問を頂きました。まず、今日御協議いただく中学校の統合の問題です。それから、築城中学校校区では、指定校変更の取扱い等について御質問いただきました。また、上城井小と下城井小の、統合をというようなお話も頂いたところでございます。

そのなかで、今日、御協議いただきたいのは、前回に引き続き、中学校の統合に対する考え方ということです。これは、今回の適正配置基本計画を進めていく上では、非常に重要なポイントになってくるんだろうというふうに思います。教育委員会として、この中学校統合について一定の考え方の整理をさせていただきたいということで、ご協議をお願いします。

資料のほうに、中学校統合に対する考え方について（案）ということで、添付をさせていただいております。これは、何処かに文章を出すというようなことではございません。一応、教育委員会としての考え方を、整理をさせていただきたいという意味で、今日、資料を配付させていただいたところでございます。

内容としては、10月に策定をしました、築上町立小中学校適正配置基本計画では、椎田中学校と築城中学校、この2つの中学校を核として、中学校区での再編を計画としているということで、現時点では、中学校の統合はしない方針で、計画を定めているということで記載しております。その理由としては、まず築城中学校の建設の際に、保護者アンケートを実施いたしました。結果としては、8割ぐらいの保護者が、やっぱり中学校は2校体制が良いということで、賛同していただいたということで。そのアンケートの結果を基に、椎田中学校・築城中学校という2校体制、これを町の方針として決定をいたしまして、築城中学校の建設をしたという経緯がございます。築城中学校が平成29年に供用開始いたしまして、現在5年しか経過をしていないというような状況です。そういう状況のなかで、教育委員会が中学校の統合ということを申し上げるのは、保護者の混乱を招くというようなことも予測されるというところでございます。

また一方で、適正配置基本計画では、基本的な考え方として文部科学省の指針の下、中学校の適正配置基準については、1学年3学級、これが理想的だということで配置基準としております。3学年で9学級ということになります。ただ、状況としては、御説明しましたとおり、椎田中学

校については、3学級の学年もありますが2学級の学年も出てくるという状況、築城中学校については、現状では各学年2学級というような状況です。配置基準の1学年3学級というのには、どちらの中学校も基準を満たしていないというようなところでございます。結果として、配置基準に満たないということで、教員配置に対するデメリット等が考えられますが、そういう課題も、教育委員会として整理をしながら、今後、対応を検討する必要があるということで考えております。

しかし、事務局としては、アンケートの保護者の意見、これは尊重すべきということで考えておりますし、町内に中学校2校を設置するということについては、生徒間のトラブルの発生時、或いは、いじめ・不登校問題への対応等、町内に中学校が2つあるということは、そういう色々な問題に対して、大きく寄与するというところで判断しているところです。

ただ、将来的に著しく生徒数が減少して、学習面あるいは生活面で支障が生じるような状況が見込まれる場合になった時は、改めてその時点で、保護者それから地域住民の皆様の意見を求めながら、中学校の統合についてということで、教育委員会としても議論をしていく必要があるんじゃないかということで、判断をしております。

その次のページに、恐らく中学校統合の問題は、日本全国色んなところで、やはり大きな問題になっているんじゃないかというふうに思っております。これはインターネットの記事でございしますが、新潟県の中学校の統合問題についての記事がありましたので、お配りさせていただいております。これは、築城中学校と状況が似ておまして、2017年に建て替えられたばかりの学校ということで、そこに写真もございしますが、非常に斬新なデザインの学校ということになっております。ただ、生徒数の減少から中学校の統合ということで、市長のほうを考えられていたようですが、地域の皆様の反対の声に、現在、統合を見合わせているというような記事になっています。参考までに、そういう記事もお配りさせていただいております。

今日は、中学校の統合について、事務局サイドで、前回会議の委員さんの御意見を基に、教育委員会としての基本的な考え方を整理をさせていただいております。

この点について御協議をいただければというふうに思っております。お願いいたします。

○教育委員（**麥田 猛美君**） 麥田です。こだわりがあるのは、この前も申し上げましたけど、統合期に学校が荒れたとか、子どもたちが落ち着かなくなったりとか、トラブルが予想されるとかというのは、理由として、上がっているじゃないですか。でも、現実には、直接そうだったのかというのを考えていただきたいんですよ。学校が落ち着かなくなったのは、統合して1年半後というふうに、この前、申し上げたとおり。統合期に何かそういうことになったのではないので、その辺をやっぱりきっちり整理して、書いてほしいなというふうに思っています。

○学校教育課長（**鍛治 孝広君**） 前回、麥田委員からそういう御意見を頂いておりますが、そこ

はそこで、整理をしなくてはならないというふうに思っておりますが、今日、御協議いただきたいのは、そのこととは別に、中学校の統合についてということで、考え方を整理させていただきたいということで、お願いをしたいと思います。

○教育委員（**麥田 猛美君**） 麥田です。前回の方向性を出すときに、例えば、年次計画で何年までに何をやる、何年までに何をやるというようなことを、はっきり明示しましたよね。「そのうちに」とかいう表現があったのでは、困るんじゃないでしょうか。

今回も同じようなことで、子どもの数は大体分かっているわけですから、大体、目途としてはこれくらいということは、ある程度数字で、何年度ぐらいにここまで、何年度ぐらいにここまでということを、やっぱり、はっきり出して下ろしたほうが納得すると思うんです。

「いつか分からないけれど、状況が変わりましたので、その時点で考えてこうします」というのは、まずいいのではないかと思います。地域の声に応えられないんじゃないかなという気は、私はしています。だから、はっきりそこら辺のところは、書いて明示してほしいなというふうに思います。

○学校教育課長（**鍛冶 孝広君**） それは将来的に、両中学校の統合をする時期を明確にしたほうが良いという趣旨の御発言ですね。そこは推計というか、非常に難しいと思っています。今後の出生数がどうなるかというのが、関係してきますので。

今現在、出生数を基に推計ができるのが、大体、令和14年ぐらいまでです。そこまでの基本的な考え方は、事務局で整理をさせていただいて、この適正配置基本計画の中に盛り込んでいるんですけど、それ以降の20年後とかいうところは、推計が難しいと思っています。逆に根拠が明確で無いなかで、何年頃に統合しますとか、そういうのが逆に、混乱を招くのではないかと、事務局としては考えているところです。

○教育委員（**麥田 猛美君**） 麥田です。少なくとも大きく増えることはないじゃないですか。横並びということも、今の状況では、考えられないと私は思っています。出生数が落ち着いて、あるいは増えていくという状況は、私の中では考えられないんです。

だから、環境が変わって、どう変わるか分からないんですけど、そこはどうも読めないんですよ。保護者の方なり、中学生はまだ良いですよ。小学校の、例えば1年生であれば10年後の話じゃないですか。少なくとも、うちの子が中学校に行くまでにはというようなイメージは、多分、持ちたいだろうと思うんですけどね。その意味でお聞きしているんです。

○指導主事（**宮内 智久君**） 今日、計画の概略をお配りしております。タブレットにも載せているんですけど、小さくなりますのでこちらのプリントをお願いします。一番右の下に書いておりますように、また、計画の中にもありますが、令和9年度に、小中一貫校を造る。そして、令和14年度以降については、3校体制にしていくということを示しております。これ以上につ

きましては、なかなか読めないところがあります。というのは、1つの例としましては、近隣の市の例ですが、一学年2クラスで、これ以上増えることはないだろうということで建替えを計画していた小学校が、建替えをした後に、マンションが数多く建ちまして、現在は、もう足りない状況です。建替えたのが、20年前で読めなかったわけです。だから、増えないというのはなかなか言いづらい部分がありまして。何とか児童・生徒を増やしていこうということで、努力をしていきたいと考えております。

それから、先ほど3校体制とありましたけれども、椎田中学校に関しては微妙なところなんです。2学級か3学級かという。築城中学校は、2クラスということになります。これも、読みづらい部分がありまして、こういうような表現になっておりますけれども。取りあえず令和14年度までには、とにかくこの3校体制にしていくというのは明示しておりますので、そういう説明をしていきたいと思っております。

また、この適正配置基本計画の概略につきましては、アンケートをこれから取っていく予定でございますので、その折に、この概略を一緒にお配りして、アンケートをしていこうと考えているところでございます。

○学校教育課長（鍛治 孝広君） 麥田委員が言われるように、将来的にということではなくて、何年後ということを明確に示したほうが良いのではないかと考えてございますが、申上げたとおり、非常に推計が難しいということと、今、町のほうで人口減少対策本部を立ち上げて、人口減少に歯止めをかけようということで、今後、色んな施策の実施を検討しています。麥田委員、仰るように増えるということは、その対策本部でも考えておりません。今の減少傾向を鈍化させる、減る度合いをなだらかにしようということが、目標に掲げられております。

来年度以降、色んな施策を検討しているという状況でございますので、増えるということは、まずないと思いますが、20年後、30年後の推計というのは、非常に難しいと考えています。また、逆に、根拠のないところで計画にそれを織り込むと、かえって混乱を招くのではないかとすることも考えられますので、そこは、御理解を頂きたいというふうに思います。

他はよろしいですか。

○教育委員（小林 正尚君） 前回も言ったんですけど、今、行っている小中一貫の方向、取りあえず椎田・築城中校区でのステップっていうか、ここをまず集中的にやっていったほうが、今は良いのではないかと思います。

まさか、自分が椎田小にいた頃、三、四十年前には、800人ぐらい児童がいましたが、今のようになるとは思っていませんでした。色々な要因もあると思いますが、こういうふうに変わると思わないし、ちょっとの間に、どういふ変化が起こるか分からないと思います。

そういった意味も含めて、例えば椎田中と築城中を一緒にするとなったときは、色んなしがら

みとか、皆さんの思いとか、急ぐとまた、色々あると思いますし、地域も広いし、文化もいろいろ、そこ独特のものがあると思います。

今の段階では、やはり椎田・築城で、纏まって行って、淡い希望を抱きながら、十年、二十年後には、築城中校区の子どもが増えてきたぞとか、そういうのも見据えながら、今はこの状況の椎田・築城中校区で進めていくべきじゃないかなというふうに考えます。

○学校教育課長（鍛治 孝広君） ありがとうございます。

○教育委員（折本 美佐子君） 折本です。私も前回発言したと思うんですけども、2校体制で良いと思っています。そして、私個人の気持ちとしては、行政と教育委員会も協力しながら、増えないじゃなくて、増やしていこうという、町の特性を生かし、築上町の教育もどんどん良くしていき、将来的に増やしていこうという気持ちを持って私たちが取り組んでいく、この姿勢を崩さずに、やっぱりやらなければいけないと思います。

せめて前向きな気持ちでやって行って、やっと現状維持かもしれないんだけどもという気持ちでおります。だから、2校あって、今後、人口が増えて、子どもも増えていったら、良いなと思っております。

○教育委員（茅田 香君） 茅田です。私も、椎田中・築城中と2校を統合しないで、そのままの状態が残すっていうのは賛成でございます。やはり、色んな経緯があつて築城中を建て直したっていう、そういう経緯もあったことを今、確認できましたので。そういうことがあつて、新しい校舎になったということであれば、やはりそれを生かして、今、計画している小中一貫校を確実に、現実にしていくのが良いかなと思っておりますので、よろしくお願いします。

○学校教育課長（鍛治 孝広君） ありがとうございます。事務局としては、11月の説明会、それから12月の議会を経て、やはりこの中学校の統合が、今回の、この適正配置基本計画の1つの大きなポイントではないかなというふうに考えているところです。恐らく今後の住民説明会でもこの話が出てくると思いますし、今後の議会でも、中学校統合論については、色んな意見が出てくると思います。そういう中で、教育委員会として、中学校の統合に対する考え方を、一定整理をさせていただいて、今後、教育委員会としては、こういう考え方でということ、説明をさせていただきたいというふうに思っております。

ということで、今日は、中学校統合に対する考え方についてご協議いただきましたが、こういう考え方で、教育委員会の考え方としてよろしいですかね。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○学校教育課長（鍛治 孝広君） ありがとうございます。それでは、そういうことで、今後、説明をさせていただきたいというふうに思います。

その他、協議事項の適正配置基本計画について、何か委員さんのほうからございましたら、お

願いをいたします。

○教育委員（**麥田 猛美君**） 麥田でございます。今、2つの中学校区で分けて説明会しましたよね。その中で一番、具体的なイメージを持ちにくいのは、八津田小学校です。小規模特認校というのは何かと、どういうものかというのが一番分かりにくいという声があります。

それと、もう一点は、説明会をするのであれば、もうちょっと小さい規模でも開いてほしいというような声があるんですよ。やっぱり、多くの方にまで行き渡るような会議の持ち方が出来ないのか、説明会の持ち方が出来ないのかという声が、私が教育委員をしていることもあるかもしれませんが、上がっていますので、ご検討いただければと思います。以上、2点です。

○学校教育課長（**鍛冶 孝広君**） ありがとうございます。麥田委員が言われた2点、議会でも言われております。八津田小学校の関係と、小学校区とか、そういう単位で説明会をしたらどうかという点です。

今、説明会の点については、事務局で検討しているところです。八津田小学校のことについても、もう少し小規模特認校という、少し聞き慣れない名称も使っておりますので。そこをもう少し整理をして、丁寧に住民の方に説明できるように、今、検討しているというところでございます。

他は、よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

- (7) 連絡事項
- (8) その他
- (9) 閉 会

午前10時50分閉会
